

2019年3月22日

凸版印刷株式会社

代表取締役社長 金子 眞吾 様

株式会社ストラテジックキャピタル

代表取締役 丸木 強



貴社の上場子会社である図書印刷のガバナンスについて

弊社は、投資一任契約を締結している運用資産で貴社の子会社である図書印刷株式会社（以下「図書印刷」といいます。）の発行済株式総数の約7%を保有しております。

さて、今月3月7日に総理大臣官邸で開催された未来投資会議では、上場子会社のガバナンスの在り方について議論されました。そこで、安倍総理大臣から「上場子会社のガバナンスの強化に向けた対応に関して、①新たな指針を早急に策定し、親会社に説明責任を求めるとともに、子会社側には、支配株主から独立性がある社外取締役の比率を高めるといった対応を促す。②東証の基準等についても対応を検討する。」とのご発言があったとのこと。この会議の資料については、官邸のHP(*)を、安倍総理大臣のご発言については経産省HP(**)をご参照いただきたいと思います。

また、未来投資会議の資料3の8頁には、「上場子会社の株主として親会社に対話を求めても、子会社は独立しているので子会社と話してくれと断られる。結果として、上場子会社は経営者天国となっており、株価が割安で放置されていたりする。」と記載されており、正に貴社と図書印刷の関係が記されています。さらに資料4によると、

上場子会社のガバナンス改善は、本年夏の成長戦略に入ることです。貴社におかれましても、弊社がかねてよりお願いしている次の点などについて、親会社・大株主として早急にご対応いただきたいと存じます。

- 図書印刷の大株主同士としての、貴社と弊社との対話
- 大株主として、図書印刷経営陣に以下の事項について改善を強く申し入れ
 - ✓ 喫緊の課題として、現在の事業の利益率を大幅に改善させること。
 - ✓ 企業価値・株主価値を毀損するだけとなっている中期経営計画の事業領域拡大に係る投資計画を中止すること
 - ✓ 当面使う予定もなく積み上がった現金類似物を株主に還元すること。特にリクルートホールディングス株式は直ちに売却すること。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

以上

追伸：同じ内容の手紙を足立会長、磨副社長、黒部取締役及び貴社社外取締役にお送りしております。

*官邸 HP（未来投資会議（第24回）資料3及び資料4）

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/miraitoshikaigi/dai24/siryou3.pdf>

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/miraitoshikaigi/dai24/siryou4.pdf>

**経産省 HP（第15回コーポレート・ガバナンス・システム研究会 参考資料1の13頁）

https://www.meti.go.jp/shingikai/economy/cgs_kenkyukai/pdf/2_015_s01_00.pdf